平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード 040427	財団法人所沢市シルバー人材センター補助金		保健福祉部 高齢者支援課			
補助開始年度 昭和 53 年度 → 終了予定年度 平成 年度			ｸﾞﾙｰﾌﾟ	いきがい推進グループ		

②事業の内容

根拠法令	社団法人所沢市シルバー人材センター補助金								
分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画								
関連・類似事業	福祉・家事援助事業補助金								
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	2 生きがい支援の充実	小柱	(5) 就労支援対策の推進	

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

ｺｰﾄﾞ		ｺｰﾄﾞ		ｺｰﾄﾞ	
3261	事務事業見直しの推進				

補助開始の背景	高齢者の安定した雇用を促進するとともに、高齢者のもてる能力を社会に還元する機会を提供し、もって高齢者福祉の増進に寄与するためにシルバー人材センターの育成を図る。		
補助の目的	定年退職者等の希望に応じた就業を確保し、組織的に提供することにより、高齢者の就業機会の増大と能力を生かした活力ある地域の社会づくりに寄与する。	団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	1. 高齢者で仕事を希望する方は、シルバー人材センターの会員になる。 2. 当該地域における日常生活に密着した臨時的かつ短期的な仕事の需要をシルバー人材センターが有償で引き受ける。 3. 会員に提供し、仕事の内容と就業の実績に応じて報酬を支払う。 4. センターの運営費の一部を市が補助する。		単位

③経費

≪会計種別≫ 一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
補助金支出額当初予算	18,900	17,010	16,160
補助額決算 (見込み含む)	18,900	17,010	
臨時職員賃金	人	人	
正規職員人件費	0.05 人 460	0.11 人 1,033	
事業費合計	19,360	18,043	
市民一人当たり(単位:円)	57.3	53.2	

④指標

	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標
団体活動実績	会員登録数	前年度比	人		2106	2117	2150	
	就業延人数	前年度比	人		17556	17864	17900	
成果分析	補助率	補助金額/補助対象経費	%	目標値	2.00	1.5	1.0	
				実 績	2.19	1.9	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	2
			%	達成率	91.3	78.9		

⑤一次評価

補助金の有効性 評価項目					
総合計画への貢献度	☐ 貢献度は高い	☑ ある程度貢献している	☐ 貢献度は低い		
成果分析に基づく目的の達成度	☐ 達成度は高い	☑ ある程度達成している	☐ 達成度は低い		
団体活動の自主性	☑ 自主性は高い	☐ ある程度自主的である	☐ 自主性は低い		
事業費に占める補助金の割合	☐ 81%以上	☐ 61%～80%	☐ 41%～60%	☐ 21%～40%	☑ 20%以下
活動内容及び会計処理の適切さ	☑ 適切である	☐ 改善余地がある	☐ 改善の余地が大きい		
今後の必要性	☐ 増大する	☑ 減少する	☐ 変わらない		

H 20 目標設定	目標項目	達成水準	時期
	適正な補助金の執行について指導していく。	契約金額9億円、2500人の会員を目指す。	平成21年3月

H21予算の方向性	☐ 現状通り ☐ 増額 ☑ 減額 ☐ 統合 ☐ 終了
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	高齢社会を迎え、高齢者に対する就労の機会を提供することはいきがい対策の施策として重要である。シルバー人材センターへの支援は必要であるが、補助金については、同センターの運営状況を見定めながら今後も検討していく必要がある。
評価日 平成20年5月2日	記入者職氏名 高齢者支援課長 鏡 諭

⑥二次評価

次年度用評価	部内優先順位・・・ 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	☐	☐	☐	☐
	市長マニフェスト	☐	☐	☐	☐
評価理由 評価日					

優先度
- ☐ A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
- ☐ B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
- ☐ C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑦個別計画の方向性

◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ・・・ 無し		計画ｺｰﾄﾞ		
施策の体系		施策の方向			
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ・・・ 無し		計画ｺｰﾄﾞ		
基本目標					
主要課題					
施策の方向					